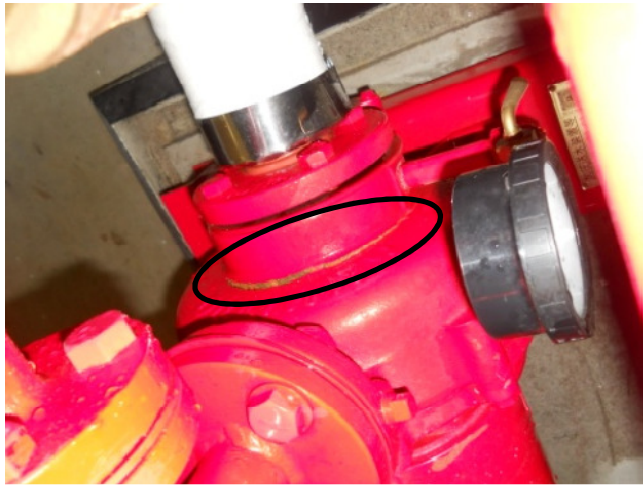


事例番号	H24-4	事故分類	物損公衆
工事名	重要文化財旧旭川借行社保存修理工事		
事故発生状況	消火栓ポンプ内の水が凍結しポンプが破損したため、ポンプ室内に水を噴出させた。ポンプの破損、室内の彫刻及び段ボール等による梱包内の冊子が濡れる被害		
事故原因	工事に伴う配管撤去の際、これと同一系統の温水ヒーターを外したことに伴い、消火栓ポンプが凍結する可能性を認識しつつも、隣接する他の施設でも当該ポンプを使用していると思い込み、当該ポンプの水抜きを行わなかった。		
事故発生後の措置	事前の現場調査を行い、状況を確認した上で、危険を予想して作業を行う。		
事故概要図			

事故概要図



消火栓ポンプ破損箇所(○囲みの部分)  
消火栓ポンプ内の水が凍結膨張したことで、消火栓ポンプの受水槽からの配管を受ける部分に亀裂が入っている。  
ここから水が噴出し、近くにあった



書籍類の被害状況  
梱包材を通して水がしみこみ内部の書籍類が濡れた。



消火栓ポンプまわりの書籍類と彫刻の被害状況



彫刻の被害状況  
彫刻は、水の拭き取りと乾燥で復旧したため、修復等を必要とする被害はなかった。